

平成 21 年 9 月 24 日

各 位

不動産投資信託証券発行者名

東京都港区六本木六丁目 10 番 1 号
六本木ヒルズ森タワー

ジャパン・ホテル・アンド・リゾート投資法人

代表者名 執行役員

鈴木 博之

(コード番号：8981)

資産運用会社名

ジャパン・ホテル・アンド・リゾート株式会社

代表者名 代表取締役

鈴木 博之

問合せ先 管理本部長

板橋 昇

TEL. 03-6439-0333

2009 年 8 月度の月次開示に関するお知らせ

ジャパン・ホテル・アンド・リゾート投資法人（以下「本投資法人」といいます。）の 2009 年 8 月度の月次総売上高並びに宿泊部門の客室稼働率、ADR 及び RevPAR を下記のとおりお知らせいたします。本投資法人は変動賃料の支払いを伴うホテルであって、ホテル賃借人である株式会社ホテルマネージメントジャパンから開示について同意をうけることができたホテルについて継続的に月次開示をいたします。

記

ホテル／項目		8 月度	対前年 同月増減 注 7)	(参考) 累計 注 8)	(参考) 対前年 累計増減 注 9)
神戸メリケンパーク オリエンタルホテル	稼働率	91.3%	1.2%	70.7%	-7.3%
	ADR (円)	16,523	-1,540	15,472	23
	RevPAR (円)	15,086	-1,181	10,933	-1,117
	売上高 (百万円)	528	-21	5,999	-745
オリエンタルホテル 東京ベイ	稼働率	82.2%	-6.9%	80.7%	1.0%
	ADR (円)	23,691	-3,404	18,831	-986
	RevPAR (円)	19,471	-4,660	15,193	-591
	売上高 (百万円)	549	-123	6,539	-244
なんばオリエンタルホテル	稼働率	82.4%	-6.3%	75.5%	-11.3%
	ADR (円)	10,381	-1,360	10,365	-284
	RevPAR (円)	8,555	-1,859	7,827	-1,421
	売上高 (百万円)	158	-21	1,781	-195
ホテル日航アリビラ	稼働率	78.7%	-13.9%	75.6%	-1.8%
	ADR (円)	60,457	-2,381	27,561	-786
	RevPAR (円)	47,608	-10,608	20,837	-1,097
	売上高 (百万円)	887	-193	5,498	-355
オリエンタルホテル広島 注 6)	稼働率	85.1%	-1.6%	71.8%	8.4%
	ADR (円)	10,021	172	9,043	198
	RevPAR (円)	8,523	-8	6,497	886
	売上高 (百万円)	147	26	2,103	146
上記 5 ホテル合計	売上高 (百万円)	2,268	-332	21,920	-1,392

8 月度の実績に関するジャパン・ホテル・アンド・リゾート株式会社（資産運用会社）からのコメント：

神戸メリケンパークオリエンタルホテルについて

宿泊部門では、法人契約拡充等の集客施策により稼働率が前年同月を上回ったものの、マーケット全体が進む低価格化傾向の影響によりADRが低下、売上は前年同月を下回りました。料飲部門では、新規競合施設の影響による件数の減少により婚礼宴会においては売上が減少したものの、一般宴会においては新型インフルエンザの影響により順延されていた宴席の実施等により売上が増加、レストラン部門ではメニュー改訂等の集客施策が奏功して売上が増加したため、料飲部門の売上は前年同月と同程度となりました。結果として、ホテルの総売上は、前年同月を約21百万円下回りました。

オリエンタルホテル 東京ベイ（旧：新浦安オリエンタルホテル）について

宿泊部門では、TDR25周年イベントの集客効果剥落及び競合施設間の競争激化を主因として、ADR、稼働率共に前年同月を下回り、結果として売上も前年同月を下回りました。レストラン部門では、昼食売上は堅調に推移したものの、夕食売上及び宿泊客の減少に伴う朝食売上の減少により前年同月の売上を下回りました。宴会部門では、婚礼宴会売上がチャペル改修工事の影響のため、前年同月を下回った他、景気低迷の影響により一般宴会売上も減少したため、前年同月を下回りました。結果として、ホテルの総売上は、前年同月を約123百万円下回りました。

なんばオリエンタルホテルについて

宿泊部門では、国内レジャーの取り込みは堅調であったものの、景況感の低迷を受けたビジネス需要の低迷及び円高を受けた韓国インバウンドの落ち目の継続により、ADR、稼働率共に前年同月を下回ったため、売上も前年同月を下回りました。結果として、総売上は前年同月比で約21百万円下回りました。

ホテル日航アリビラについて

宿泊部門では、沖縄本島への入島者数の対前年比での下落が継続する中で、月後半に沖縄での新型インフルエンザに関する報道が強まったことを受けて予約のキャンセルが発生、期近での需要が減退し、ADR、稼働率が低下、結果として売上は前年同月を下回りました。料飲部門では、夏休み期間用に設置した特設レストランは需要を喚起できたものの、宿泊者数の減少に伴うレストラン利用者の減少の影響が大きく、売上は前年同月を下回りました。結果として、ホテルの総売上は前年同月を約193百万円下回りました。

オリエンタルホテル広島について

宿泊部門では、マーケット全体が売上が大きく落とす中、集客チャネルの拡充施策が奏功、売上は前年同月とほぼ同程度となりました。料飲部門は、一般宴会、婚礼宴会共に件数増加により売上が前年同月を上回り、レストラン部門は昼食・夕食帯の集客の低迷により前年同月を下回ったものの、全体売上は前年同月を上回りました。結果として、ホテルの総売上は前年同月を約26百万円上回りました。

※ご参考

新型インフルエンザの影響について

8 月度における新型インフルエンザを起因とした予約キャンセル額（直接的影響）は、ホテル日航アリビラで約9百万円であり、その他のホテルでは直接的影響は発生していない状況です。

注 1) 上記のコメントは運用会社が貸借人から提供を受けた情報に基づいて作成しており、あくまでおおむねの傾向についての参考情報として記載するものにすぎません。コメント中に記載された数値・情報については、監査等の手続を経ているものではなく、運用会社による独自の検証を行なう性質のものでもなく、個々の数字・内容の正確性・完全性について保証できるものではありませんのでご注意ください。

注 2) 各月の数字については監査等の手続を経ないため、各月を合計した金額は、後に提出する半期報告書、有価証券報告書に記載される6ヶ月間及び年間の売上合計と合わない場合があります。また、各月の売上についても、半期報告書、有価証券報告書に記載される各月の売上と相違する場合があります。

注 3) ADR：平均客室販売単価（Average Daily Rate）をいい、一定期間の宿泊部門売上高合計（サービス料を除きます。）を同期間の販売客室数合計で除した値をいいます。

注 4) RevPAR：販売可能客室数当たり宿泊部門売上（Revenue Per Available Room）をいい、一定期間の宿泊部門売上高合計を同

期間の販売可能客室数合計で除したものをいい、ADRと客室稼働率の積にて計算される数値と同値となります。

注 5) 客室稼働率については小数点第2位を、ADR、RevPARについては小数点第1位を四捨五入して記載しています。売上高については、百万円未満を四捨五入して記載しています。

注 6) オリエンタルホテル広島については平成19年10月1日取得のため、対前年同月及び累計増減の算出基礎となる平成19年9月の数値は、未監査です。

注 7) 対前年同月増減とは当該月と前年同月との増減を記載しています。

注 8) 累計とは当期期首から当該月までの累計値を記載しています。

注 9) 対前年累計増減とは、当期期首から当該月までの累計値と前期期首から前年該当月までの累計値との増減を記載しています。

以上

* 本投資法人のホームページアドレス : <http://www.jhrth.com/>